

陶都会だより

2025 年
4 月 20 日発行号

習字レクにて、利用者 A・S 様に題目を書いていただきました。

R7.4 月 春のお花見イベント



春のお花見に土岐市のどんぶり会館へ行ってきました。天候に恵まれ、ぽかぽか陽気に春の訪れを感じながら桜やつつじを見ながら公園を散策しました。また、施設農園では芝桜やチューリップと色とりどりの花々が見ごろを迎え、「満開ね!」「きれいね〜」「来年も来なきゃね」と皆さんとても楽しまれていました。

【今月の内容】

- | | |
|--------------|--------|
| ◆お花見レク | ・・・1 |
| ◆新年度の挨拶 | ・・・2～4 |
| ◆食事紹介、入社式 | ・・・5 |
| ◆農福連携事業 | ・・・6 |
| ◆新年度の挨拶(多容荘) | ・・・7 |
| ◆多容荘 | ・・・8 |

陶都会オフィシャルサイト

<https://tohtokai.jp>

読み取りはこちら→



新年度 挨拶

【陶都会 常務理事】



【田中良夫】

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。新年度を迎え、10月からスタートした「地域交流カフェ茶坊みのわ」で初めての入社식을執り行いました。入社式後は、優しいマスターが淹れるこだわりの自家焙煎で本格珈琲をいただきました。「みのわカフェ」では、毎月マルシェを開催しています。4月20日に開催されるマルシェは、パン、洋菓子、おにぎり、メンチカツさらに五平餅と盛り沢山となっています。セラピー犬ちいも各イベント登場します。4月25日は、農作業体験や五平餅作りを行います。定期的に「RiRiKa 歌声喫茶」も行っています。利用者様、ご家族様、地域住民の皆様に楽しんでいただけたらと思います。

カフェの近くにある池の周りには、シバザクラが咲いています。ピンク色、白色、青紫色とても綺麗です。敷地にある桜ソメイヨシノとのコラボレーションは、利用者様も散歩の際、感動されていました。今後の予定は、6月12日土岐市西部包括支援センター主催「認知症カフェ」をウエルフェアで開催します。ドリームバンドも参加、演奏します。新たな試みとして「ドラムサークル」を行う予定です。その日お越しいただいたみなさんと楽譜や奏法にとらわれず、自由に音楽の世界を体験し、心と心をつなぐことが出来ればと思います。そして、思いがけない達成感と喜びを一緒に味わいたいです。6月30日は、マクドナルドの دونالدがドリーム陶都でイベントを行います。さくらいろ保育園の園児も参加します。Donaldが利用者様、園児、職員、みんなを笑顔にしてくれます。楽しみです。畑には、車椅子の利用者様が農作業出来るように「レイズドベッド」を設置します。

レイズドベッドとは、地面よりも高さを出して土を盛り上げた枠状の栽培スペースになります。利用者様やさくらいろ保育園の園児と一緒に野菜を育て、そして収穫し、一緒に食べることができたらいいなあと思います。「収穫祭」やりたいですね。カフェがオープンしている日には、地域の皆さんには、是非お越しただけたらと思います。ご両親の介護、愛する人の介護のことで悩まれることがあると思います。一人で抱え込まずにご相談ください。毎週金曜日、カフェで介護相談コーナーを開催しています。カフェの隣には、「さくらいろ保育園」があります。こども達の元気な声や散歩している姿を見ていると自然と顔がほころびます。利用者様も園児たちと触れ合うことでたくさんのエネルギーをいただいています。このようにカフェを中心とした多世代交流が出来る環境となっています。地域住民の皆さんと一人一人繋がっていくことで、みんなが住みやすい街づくりを行うことが出来たらと思います。ドリーム陶都は、土岐市と災害時福祉避難所を締結しています。備蓄倉庫にはお水や非常食、ポータブルトイレ、簡易トイレ、発電機、ポータブル電源、簡易ベッド、マットレス、オムツなど準備しています。災害時は、ドリーム陶都も地域住民の皆さんの助けが必要です。カフェを通じて皆さんに社会福祉法人ドリーム陶都の目指す方向性を知っていただけたらと思います。みのわカフェで皆さんとお会い出来る日を楽しみにしています。今後とも宜しくお願いします。

新年度 挨拶

【ドリーム陶都 施設長】



【小川大輔】

ドリーム陶都は3/21に21周年を迎えました。入所者様、家族様、地域の皆様始め、関係各所の皆様にご理解、御指導、御鞭撻を頂けた結果でございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

昨今介護業界は厳しい状況が続いており、大きな変革期を迎えております。そのような時代に於いてドリーム陶都でも昨年度は組織づくりの大きな変革期でした。昨年4月の広報誌でも記載させて頂きましたが令和6年度から部長・リーダー制を廃止し新たな組織の在り方を構築してきました。

福祉分野ではまだまだ前例がない方法でチャレンジするのは大きなエネルギーが必要な事です。そのような中でも職員はチャレンジしてくれました。他の取り組みも含めてではありますが、時間外勤務の削減やレベルに応じた役割の明確化による業務の委譲、職員の自立など、初年度としては一定の成果はうまれたと考えております。ただ課題として、考え方や進め方が全職員に浸透していないのも現実です。職員自身が未来を描け、職員の自信に繋がり、組織が永続できるようひとつひとつ着実に進めて参ります。

令和6年度は施設敷地内に地域交流カフェ「茶房みのわ」が完成しました。完成初年度でしたが、多くのイベントが開催され、地域の方々に少しずつではありますが認識して頂く事ができました。地域交流カフェを多世代交流拠点として更に機能させて行きます。

地域交流カフェ茶房みのわが目指す3つの「わ」

- ・輪 「人と人との繋がりを大切に」
- ・話 「想いを語り合える」
- ・和 「和みの場」

このような、コンセプトのもと運営しております。通常の喫茶営業はもちろん、毎月各種イベントが開催されておりますので是非足をお運び下さい。またカフェでは介護相談も実施しておりますので、介護や福祉について何か不安な事があればご相談下さい。

令和7年度は昨年度の取り組みを更に掘り下げて行きます。主な重点取組事項は、

- ① 介護部専門性の強化
- ② 連携強化（施設内外）
- ③ キャリアラダーのレベルに応じた業務の実践
- ④ 生産性向上の実践
- ⑤ 地域共創

となります。

施設内の強化から外部との連携、そして地域と繋がり、ドリーム陶都が地域づくりのひとつのピースとなり得るように実践していきます。

令和7年度もドリーム陶都にご協力頂けますと幸いです。

新年度 挨拶

【陶都会 事務局長】



【田中良和】

日頃は当法人の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2025年度のスタートにあたり、ご挨拶申し上げます。

世界に目を向けると、アメリカではトランプ政権の再登場により、保護主義や関税政策が再燃しています。こうした国際情勢の変化は、エネルギーや物価、輸出入などを通じて、私たちの暮らしや地域社会にも大きな影響を及ぼしています。だからこそ今、地域の中で支え合いながら価値を生み出していく「社会的連帯経済」の考え方が、より重要になってきていると感じております。

たとえば、北海道の浦河町では、精神障がいのある方々が「浦河べてるの家」を中心に、安心して地域で暮らしながら、福祉的就労や当事者研究といった活動に取り組んでおられます。地域に溶け込んだ形で、当事者自身が支援の主役となり、地域の商店や農場と連携しながら、生きがいと働きがいを両立している点は、全国的にも注目されています。私たちもこうした実践に学びながら、地域交流カフェを起点とし、地域とともに歩む福祉のかたちを丁寧に築いていきたいと考えています。

また近年、厚生労働省からの通達やガイドラインにより、福祉業界でも「生産性の向上」に本格的に取り組むことが求められるようになってきました。しかし、単なる業務効率化だけでは、本質的な改善にはつながりません。個人の魅力や生活の充実が、仕事の質にも直結します。たとえば、介護職でありながら地域のイベントで特技や趣味を活かし、1人で2役、3役をこなす方もいます。こうした「得意」や「好き」を活かすことが、まちの活気や職場の風通しを良くし、結果として真の生産性向上につながるのではないのでしょうか。

さらに、福祉のように人と深く関わる仕事においては、社会の最小単位とも言える家族、家庭を大切にすることも忘れてはなりません。私自身も、不器用ながら妻に感謝の気持ちを直接言葉で伝えることを心がけており、それが心の余裕や前向きな発想、行動の原動力となっていると実感しています。

今年度は、養護老人ホーム「多容荘」と併設する「北栄地域包括支援センター」を地域づくりの拠点とし、両事業所の管理者を中心に、多世代、多分野をつなぐ仕組みづくりを進めてまいります。私はその取り組みを、リンクワーカーとして（まだ正式にそう名乗るには至りませんが、そのイメージをもって）地域や現場が主役として輝けるよう、後方支援に徹する所存です。

リンクワーカーとは、福祉・医療の枠を超えて、社会的孤立や複雑な困りごとに寄り添い、人と人を地域の中でつなぐ存在です。『社会的処方』（西智弘編著）という書籍では、こうした考え方がわかりやすく紹介されています。

この一年が、地域に暮らすすべての方にとって実りあるものとなるよう、関係者の皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



R7.3～4月 食事紹介



3月誕生日食

五目御飯
けんちん汁
サバの葱味噌焼き
いも煮
みかん



山菜そば
～温泉卵のせ～

次月の行事食

- 5/5 端午の節句：筍ご飯、けんちん汁、ブリの鍋照り他
こいのぼりのお饅頭
- 5/20 ツナマヨトースト
- 5/22 誕生日食：鶏のスタミナ唐揚げ他
- 5/27 郷土料理：長崎ちゃんぽん



味噌カツ ～愛知県～



愛知県ご当地グルメ！
八丁味噌をベースにした
タレでいただく「名古屋
めし」です。ソース派？味
噌派？皆さんはどちらで
しょうか？



R7.4.1(火)入社式



令和7年4月1日 新年度を迎えドリーム陶都に新たな仲間が加わり、敷地内にあるカフェで入社式を行いました。入社式の後にコーヒーを頂きながらジェンガ組とトランプ組に別れ白熱した親睦会となりました。初めのうちは不安なことも多くあると思いますが、これから育成担当職員やその他職員の元で業務を覚えていきます。利用者様にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



地域交流カフェだより

令和7年
4月号

みのわマルシェ開催

3月23日に、地域交流カフェ茶房みのわにてマルシェを開催いたしました!

前回に引き続き素敵なお店様と一緒にイベントを盛り上げました!

地域交流カフェでは、様々な具材を入れたおでんを販売!

農園で生まれた新鮮な卵を、ゆで卵とだし巻き卵にしておでんの具材にしました。

他にも農園で採れた落花生を使用した、沖縄県発祥のジーマーミ豆腐も販売!

沢山のお客様に参加して頂き、とても素晴らしいマルシェとなりました!

次回は5月18日の開催を予定しております!

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください!



NoellyDog



fleur
handmade



ジーマーミ豆腐

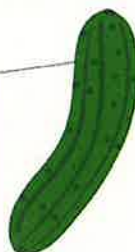


農園の様子

ドリーム陶都の農園では育苗を行っております。

育苗(いくびょう)というのは、畑やプランターに直接種を蒔いて育てるのではなく、ある程度大きくなるまで、育苗ポットなどのグッズで苗を育てることを言います。

ドリームでは現在、かぶ・ブロッコリー・かぼちゃを育苗しており、きゅうりも育てていく予定です。育てる種類に合わせて、入れるプランターやトレイを変えており、温度が高いと育ちが良いので職員が簡易ビニールハウスを自作し、利用者様も水やりをしやすいような工夫になっています。



庭園には花が

ドリーム陶都の施設周りでは、桜が咲き始め、ひらひらと花びらが舞うようになり、暖かい季節が感じられるようになりました。

敷地内の庭園では、昨年植えた芝桜が、色とりどりの美しい花を満開に咲かせています。

農園も、新たな食材を育てる準備をしたりと、季節に合わせて少しずつ変化していきます。

色とりどりの花が咲く庭園や、いろいろな作物を育てている農園に、ぜひ訪れてみてください。



新年度 挨拶

【多容荘 施設長】



【三輪 慎二】

新年度となり、多容荘は多治見市より陶都会への養護老人ホーム移管・開設から16年目、北栄地域包括支援センターは開設から8年目を迎えることができました。昨年度も様々な出来事がありましたが、大過なく運営出来ましたこと、関係者の皆様方、職員の皆様に先ずは心より感謝申し上げます。

多容荘は高齢者が生活する施設ではありますが、介護施設ではなく「養護老人ホーム」です。養護老人ホームとは、「住まいなどの環境面や経済的な理由で、自宅での生活が続けることが難しくなった、概ね身の回りのことが自分でできる65歳以上の高齢者が、市区町村の措置によって入所できる施設」で、生活困窮状態の高齢者を受け入れる「最後の砦」、「セーフティネット」の役割、また陶都会の基本理念「真の弱者救済」を体現できる施設です。しかしながら近年では何らかの介護が必要な状態の方の入所や高齢者以外の住宅確保要配慮者（障害のある方や被災された方など）への居住場所の提供などについても求められています。

地域においては出口の見えない物価や光熱費の高騰など厳しい社会情勢の中、何とかやりくりしながら社会生活が続ける高齢者の方もたくさんみえます。また本来であれば、それぞれの施設生活で生じる利用料や生活費などの自己負担分について、様々な理由により負担できない部分を福祉（税金）で支えられています。誰もが容易に入所できない施設であり、特別な支援を受けながら、施設で生活されている入所者の皆様におかれましては、施設での生活（支援）が当たり前のものと思うことなく、それぞれの状況・状態に応じた「自分らしい自立した施設生活」が継続できるように、それぞれが「意識」、「努力」、「協力」を心掛けた生活をしていただきたいと思います。施設生活内の自立支援はもちろんのこと、今年度は多治見市社会福祉協議会と共同で小規模ではありますが敷地内での農作業、ドリーム陶都の地域交流カフェでの催しや農福連携事業での作業を通して、入所者の皆様の「社会的役割」や「生きがいの創出」、「心身の健康維持・向上」に繋がるような自立支援を心掛けて対応させてもらいます。

その他多容荘での取り組みとして、引き続き生活困窮者就労訓練事業（自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者（引きこもりだった人、精神疾患を抱えている人などすぐに一般企業等で働くことが困難な方）に対し、その状況に応じた就労の機会を提供しながら、一般就労に向けた支援を行う）の実施と養護老人ホームの有効活用や特性を生かし、本来養護老人ホームが求められている地域共生社会の実現に寄与できるであろう契約入所（高齢者以外の住宅確保要配慮者の受け入れ）に向けても段階的に取り組んでいきます。また今年度より北栄地域包括支援センター（地域で生活する高齢者の方を介護・医療・保健・福祉などの側面から支える総合相談窓口）におきましては、管理者が交代します。今後も地域の方々が必要としている福祉事業に取り組んでいき、多治見市の福祉施策の実現に向けて、微力ではありますが協力させていただきたいと思っております。今年度も多容荘並びに北栄地域包括支援センターに変わらぬ、ご支援ご指導の程よろしくお願い致します。

養護老人ホーム 多容荘

※写真掲載を希望されない方の顔は加工しております。

誕生日者食事会



3月の誕生日者は3名！！豪華な食事に皆様舌鼓…♪大満足のボリュームです！！大きなケーキがとてもおいしそう♪

憩いの歌



今月の憩いの歌はトーンチャイムを演奏しました！！暖かい陽気になってきたため、曲も春の曲を多めに取り入れています。歌に合わせてきれいな音色が響き渡ります♪

R7.3.27 春の演奏会

今年はひな祭り会の代わりに春の演奏会を行いました。ドリーム陶都からバンドメンバーがやってきて皆様の目の前で生演奏！！多容荘中に華やかな音楽が鳴り響きました！！

この歌手誰でしょうクイズも盛り上がり、いたるところで思い思いの回答が飛び交っていました。ドリームバンドの皆様！！



演奏ありがとうございました♪

さて、通年なら行事終了後はおやつが出ますが……今回は前日昼食時にお出ししたのでなしです！！今年はイチゴのチーズクリームパンケーキをご提供いたしました！！春らしい甘酸っぱいお味に皆様大満足♪



R7.3.2 農業

春になり作物を植えるにはちょうど良い季節です。多容荘でも苗植えの為にみんなで畑を耕しました！！

②苗植え



苗の眠る場所ができたため、お次は主役の苗を植えていきます…。皆様土に汚れながら一生懸命作業してくださいました！作業後の皆様はなんだか誇らしげ！

前回とは別の苗を植えました。スコップを使う力自慢も！！芽が出るにはもう少しかかります…。何ができるのか楽しみです！

③苗植え



①畑を耕す

